

東海市のまちづくりの通知表をつけてみました！

～ 第3回 とうかいまちづくり大学 開催レポート ～

2022年3月17日（木）18時半～20時半、東海市役所地下大会議室で「とうかいまちづくり大学」を開催しました。この会議は、今後10年間のまちづくりの方針を定める総合計画づくりの一環で開催するものです。東海시에ゆかりのある大学生が東海市の未来のまちづくりについて、若者の視点で自由に話し合い、東海市のまちづくりについて提案することを目的としています。2021年11月～2022年3月まで計3回開催。以下、最終回となる第3回の会議の様子をご紹介します。

■ まずは前回の振り返りと宿題の成果共有

第2回の6グループの成果をふりかえり、各チームで議論した東海市の良い所と悪い所について思い出しました。これまで一緒に取り組んできたチームで行う「東海市へのまちづくり提案」を考えるために、参加者が宿題として各々で考えてきた「私のとおきまちづくりアイデア」をチームメンバーに共有しました。

■ グループワーク「東海市へのまちづくり提案」のとりまとめ



グループワークでは、「私のとおきまちづくりアイデア」をふまえて、チームとしてのまちづくり提案をとりまとめました。各々が考えたアイデアの内容を聞いたメンバーは、面白そうなものや、具体的に考えられているものを精査しながら、チームとしての提案をつくり上げていきました。

アイデアをつくり上げていく際には、チーム全員が立ち上がり、提案シートの前で白熱した議論を行う等、全員で協力する姿勢が見られました。

■ 成果発表

最終回では、市長や副市長、市の職員が「東海市へのまちづくり提案」を聞きました。

各グループの提案では、「あつまれ！！東海市♡」というキャッチコピーで、市民と学生が毎週日曜日に駅前で日曜市を開催することにより、人との交流や日曜市のためにバスの便を増やし交通を活性化させるというアイデアがありました。

他には、「ゴミからつながる世界の和」というキャッチコピーで、町内対抗でゴミ拾いを行い、ゴミ拾いの成果をポイント制にし、たまったポイントで、学生がつくった色んな国の料理を屋台で食べられるようなイベントを開催するというアイデアが出てきました。



■ 市職員からの質疑・感想

提案に対して市職員からは、「日曜市を開催して交通の便がどのように良くなるのか詳しく聞きたい」といった質問や、「ゴミ拾いをする事でポイントがたまって屋台で使うという発想に関心した」という感想がありました。

■ 市長&先生方からの講評

「東海市へのまちづくり提案」を受け、花田市長と初回からご参加いただいた先生方（日本福祉大学 千頭特任教授、星城大学 野場助教）から講評がありました。

花田市長は、「イベントを行うという提案が多かったが、イベントは今すぐにでもできる。市としてもナイトクルーズなどのイベントを実施しているが、現在は「イベントをどのように活かすか」という所について考えている。せっかくチームとなったので、太田川駅前の広場等を活用しながらぜひイベントをやっていたきたい。」という提案に対して前向きな評価がありました。

先生方からは、「前は「施設がない、交通手段がない」というような話が多かったが、人と人との出会いのイベントをきっかけに発展するという内容が多かった点がよかった。」「10年後のまちとして「住みたい」と思えるような企画にしてもよかったのではないかと。環境への配慮などももっと面白いものを考えよう。」といった評価がありました。



■ 閉会&記念撮影

最後に、全3回のプログラムにご参加いただいたみなさまに事務局からお礼を申し上げ、参加者全員で記念撮影を行い「とうかいまちづくり大学」は幕を閉じました。

